

アンテナ (2003)

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 Color

時間 117分

初公開日 2004/01/10

公開情報 オフィス・シロウズ

映倫 R-15

【キャッチコピー】

あなたの痛みを私に見せて

【解説】

トラウマによって歪んでしまった家族の再生を描いた田口ランディの『コンセント』に続く長編小説第2作目を映画化したサイコロジカル・ドラマ。幼い頃に妹が忽然と姿を消してしまったことで罪悪感を抱え心を閉ざす青年が、SMの女王との出会いを通して心を解放し救済されていく姿を痛々しくも繊細なタッチで描く。監督は「鬼畜大宴会」「空の穴」の熊切和嘉。

哲学を専攻する大学生・荻原祐一郎は、幼い頃に妹・真利江が失踪したことで、現在も自責の念に苦しんでいた。当時、真利江の隣に寝ていたのに気づかなかった彼を、母・房江は責め続けた。房江はその事件以来、宗教にハマってしまい、父は祐一郎が16歳の時に病死した。いつしか家族の中で真利江の記憶は封印されていった。そんなある日、出雲で監禁されていた少女が保護されたというニュースが流れると、房江は少女を真利江と思い込み騒ぎ出す。祐一郎の弟・祐弥までが狂乱した末に入院してしまう。仕方なく祐一郎は実家へ戻ることにするのだったが…。

【クレジット】

監督	熊切和嘉	
製作	佐々木史朗	
	成澤章	
プロデューサー	松田広子	
	渡辺敦	
	尾川匠	
原作	田口ランディ	『アンテナ』（幻冬舎刊）
脚本	宇治田隆史	
	熊切和嘉	
撮影	柴主高秀	
美術	磯見俊裕	
編集	普嶋信一	
音楽	赤犬	
	松本章	
照明	蒔苗友一郎	
録音	岩倉雅之	
助監督	亀井亨	
出演	加瀬亮	Ryo Kase 荻原祐一郎
	小林明実	ナオミ

木崎大輔	荻原祐弥
宇崎竜童	相馬俊平
麻丘めぐみ	荻原房江
大森博	荻原裕作
小市慢太郎	荻原シゲノブ
甲野優美	荻原真利江
入川保則	風水師・東堂
黒沼弘巳	医師・小倉
占部房子	藤村美樹
榎戸耕史	袴田
春海四方	墮天使の客
寺島進	墮天使従業員
光岡湧太郎	警官